

令和5年度 第一回 学校評価 分析 ―和田っ子だより9月号 別紙―

7月に実施させていただきました学校評価に関するアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの集計結果は、以下の通りです。いただいた結果を、今後の学校経営に生かし、改善を図ってまいります。

今年度は昨年度後期の設問と同じ、21項目の設問で行いました。皆様にご協力いただいた前期の回答率は、93.9%でした。(学校関係者評価含む) アンケートの全設問において、「A 十分達成できている」「B おおむね達成できている」の肯定的回答が、「C どちらかという」と達成できていない」「D ほとんど達成できていない」の否定的回答を上回っていて、全設問における肯定的回答の平均は96.1%となっており、(令和4年度後期は95.5%) 本校の教育活動がおおむね支持されているものと受け止めております。

今回は全21項目中、20項目で90%以上の肯定的回答をいただきました。(令和4年度後期は17項目)

- | |
|--|
| ① 児童は楽しく学校に登校している。(100%) |
| ② 児童は基本的な生活習慣が身についている。(93%) |
| ③ 児童の友人関係は良好である。(100%) |
| ④ 児童は気持ちの良いあいさつや返事をしている。(94%) |
| ⑤ 児童は楽しく学習に取り組んでいる。(97%) |
| ⑦ 児童は健康や安全についての意識をもっている。(97%) |
| ⑧ 児童にとって魅力ある学校行事が行われている。(97%) |
| ⑨ 教職員は児童に対してわかりやすく楽しい授業を行っている。(100%) |
| ⑩ 教職員は児童とよりよい関係を築いている。(97%) |
| ⑪ 教職員は児童の発育や健康、衛生について配慮している。(97%) |
| ⑫ 教職員は教育的支援を必要としている児童への支援や配慮をしている。(100%) |
| ⑬ 教職員は児童のよい面を伸ばし、個性を伸長する教育をしている。(94%) |
| ⑭ 教職員はいじめや仲間はずれをしない学級づくりをしている。(100%) |
| ⑮ 学校は地域の方と交流する場を設けている。(90%) |
| ⑯ 学校は学校だよりやホームページ、メールなどで情報発信をしている。(97%) |
| ⑰ 学校は校外学習や体験学習など子供の成長を考えた学校行事を行っている。(100%) |
| ⑱ 本校は保護者・地域の願いを受け止める努力をしている。(97%) |
| ⑲ 本校には他の学校にない特色がある。(94%) |
| ⑳ 本校は児童の安心安全な生活環境整備に対して適切な対応をしている。(94%) |
| ㉑ 本校は感染症予防対策に努めている。(97%) |

具体的には、100%の評価をいただいた項目は、6項目です。

- | |
|------------------------------------|
| ① 児童は楽しく学校に登校している。 |
| ③ 児童の友人関係は良好である。 |
| ⑨ 教職員は児童に対してわかりやすく楽しい授業を行っている。 |
| ⑫ 教職員は教育的支援を必要としている児童への支援や配慮をしている。 |

⑭ 教職員はいじめや仲間はずれをしない学級づくりをしている。

⑰ 学校は校外学習や体験学習など子供の成長を考えた学校行事を行っている。

昨年度2月から上昇した項目が3つあります。最も上昇率が高かった項目が、④児童は気持ちの良いあいさつや返事をしている（72%→94%）です。児童のあいさつや返事については、和田小の一番の課題でありました。今年度は、生徒指導の年間の目標として「進んであいさつをする」を掲げ、取り組んでいます。教職員から進んであいさつをするのはもちろん、集会や学級活動等であいさつの大切さを伝える働きかけや、保護者や朝の交通指導をしてくださる地域の方等へのあいさつを奨励し、あいさつができた児童を称賛しました。その結果、児童のあいさつが自然にできるようになってきたと考えています。実際、学校評議員の方々からも、「児童のあいさつがとてもうれしい。」との言葉があり、気持ちのよいあいさつができるようになってきていると実感しています。

二番目に上昇率が高かったのは、⑦児童は健康や安全についての意識をもっている（89%→97%）です。健康面では、コロナ感染症が5類に移行して学校生活も日常に戻る中、栄養教諭による学級活動の中での食育と共に、コロナ禍では難しかった給食時間中に朝ご飯の大切さや、養護教諭による健康な体づくりについて話をするできるようになりました。安全面では、1, 2年の交通安全教室を始め、登下校指導や日頃から校内外の安全に気を付けるように声をかけていることで、児童の意識が変わってきたと考えます。

三番目に上昇率が高かったのは、⑱本校は、保護者・地域の願いを受け止めるよう努力している（92%→97%）です。これにつきましては、引き続き青少年育成住民会議、民俗資料収集委員会、和田地区社会福祉協議会等の地域の会合に積極的に参加し、地域の思いや願いを受け止めるよう努力してまいります。

課題として、唯一90%を超えなかった項目、⑥児童の基本学力は十分身についている（89%→87%）があります。改善策として、教師の指導力を向上させながら、小規模特認校の特徴である少人数指導を生かし、子供たち一人一人のニーズに寄り添った親身の指導をより充実させてまいります。

今回のアンケート結果、及び、いただきましたご意見・ご要望につきまして、後期の教育課程に反映できるよう検討を進めてまいります。また、アンケート結果は、学校ホームページでも公表する予定です。

